

■■■ ベトナム難民の収容問題 ■■■

1978年から日本政府はベトナム難民の定住を認め、多数のベトナム難民が日本に定住しています。しかし、残念なことにその中には、生活苦の故でしょうか窃盗等の罪を犯して刑務所に入ってしまう人も少なからずおります。外国人であるため、刑務所を出てくると出入国及び難民認定法違反ということで、定住ビザが取り消され、本国への強制送還ということで入管の収容所に収容されてしまいます。しかし、これで送還されてしまえば仕方ないことですが、問題はベトナム政府が難民の送還を拒否しているということです。入管は送還できないにもかかわらず、収容所に長期間収容しているという事態が起き、長い人で2年を超えるものも出ています。入管法では、送還不能の場合には放免できるとの規程があり、これまで収容者は仮放免を申請してきたのに、入管はことごとく仮放免を不許可にし、収容を続けています。悪いことをしたとはいえ、既に刑期を終えているのに、また長期間収容を続けているのは、人権侵害を甚だしいといわなければなりません。今、茨木の入管センターに5名のこのようなベトナム難民が収容されています。彼らの収容を止めさせるために、仮放免不許可処分の取り消し訴訟を大阪地方裁判所に11月20日に提訴することになっています。皆様のご支援をお願いします。(KFC理事 吉井正明)

---

■■■ KFCからのお願い ■■■

吉井理事の協力している裁判の中国語の通訳ボランティア募集

東京、京都などでは既に始まっている中国帰国者の国家賠償訴訟裁判のための中国語通訳のボランティアを募集しています。

中国帰国者に対しては、日本で生活をしていくうえで、今まで政府は十分な対応、補償をしていません。そこで兵庫県でも中国帰国者のための裁判をおこすため、各帰国者に対して過去および現在について聞き取り調査を行うことになっており、中国語の通訳ボランティアを探しています。兵庫県では約50名が対象となります。期間は2003年12月-2004年3月の予定です。ご協力頂ける方は、事務局までご連絡下さい。

---

■■■ ご挨拶 ■■■

9月から緊急雇用対策でKFCに採用された 中川です。

私の仕事は、『在日コリアン高齢者のための ケアガイドブック』のイラスト作成とデザインが主な仕事です。

この冊子を作っていく作業の中で私が知らなかったことが多く、介護保険、社会福祉など自分の生活にあまり関係ないと思っていたことが自分の視点を少しかえるだけで、今まで見えていなかったことが見えてきました。

例えばテレビの番組でも介護関係の番組など今までならすぐチャンネルをかえていたはずが、見るようになったり、外を歩いていても近所をデイケアセンターの車が通るのを見ると今まで目につかなかったことがケアガイドブック作成の仕事をする中で自分の身近にある問題として認

識するようになったことは 私が描いたイラストにも反映されていると思います。世間の人々が介護保険、社会福祉などの私達がうけることができる当然の制度やサービスもどれぐらい内容を知っているかと言え実際には制度を利用している人をのぞけばその存在すら知らないのが実情ではないでしょうか？知っていてもその内容までは詳しくは知らない人がほとんどでしょう。私が作成しているケアガイドブックはイラストを使って分かりやすく、興味が持てるように作っています。まだ作成途中ですが、介護保険を必要としている人もそうでない人も一人でも多くの人に読んでほしい！完成までがんばっていきたいと思います。（中川）

---

### ■■■ご挨拶■■■

10月1日からポルトガル語の通訳・翻訳者としてKFCで働くことになりました。緊急雇用の6ヶ月契約です。

日系3世のブラジル人である私は1999年に サン・パウロの大学を卒業し、熊本大学で一年間留学をしました。

ブラジル（特にサン・パウロ）には様々な国の人々が居て、故郷は関係なく誰でもブラジル人だと思われています。それで、人種差別が少ない国だと思います。世界で2番目に日本人が多い国だそうです。ということは、日本だけに負けています。聞いたことがない言語を話している人を見ても外国人だと思わないブラジル人は少なくありません。逆に「そのブラジル人は凄いね！そんな言語も喋れる！」と勝手に思います。

その環境で育てられた私は来日して全く違う社会を知ることができました。見た目が日本人の私はあまり人種差別を感じないけれど、友人のマレーシア人は日本人の男の子に「宇宙人ですか？」と聞かれたことがあって、ショックを受けました。「日本の社会もいつか外国人に目を向けたら良いな。」とその時は思いました。

在日外国人の支援をするKFCで働くことができて本当に感謝しております。KFCの皆さんに色々教えてもらいながら頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。（福本クラウジア真由美）

---

### ■■■日本語プロジェクト■■■

#### ■「ステップアップ講座」を受講して

本講座を終えて、今はほっとすると同時に自分の中で自信めいたものができつつあるのを感じています。

私は、今年からKFCの賛助会員になり、毎週木曜日には定住ベトナム人への学習支援を行っています。それはただ、日本人だからなんとかやっているという程度のもので、他人に「日本語を教えている」なんて恥ずかしくて言えたものものではありませんでした。ボランティアとはいえ、高校生以上の学習者からは月1,500円徴収している以上、なんとか専門の日本語教授法を身につけたいと常々思っていました。そこへこの講座があると聞き飛びついたので。「初級講座」に続く今回のステップアップのための講座は自分にとって本当に実のあるものとなりました。実習形式の講義は座学と違って緊張感と試行錯誤の連続でした。他の受講者の方々が回を重ねるたびにうまくなっていくのを感じ、最後に出番が回ってくる私にとっては不安が一杯でした。でも、指導案を作成していくうちに次第にイメージが沸いてきました。私にとってラッキーだったのは、実習直前に「絵で教える日本語」の永保先生の講義を受けたことです。トラの絵の書き方を教えてもらい「これだ！」と思いました。尾崎先生から、私が書いた下手な絵を「～よ

うだ」を学習するにはうってつけの絵だったと褒められたのも「トラ」のお蔭です。

兎にも角にも、8回に及ぶ講座を終え明日からまた学習者と一緒に勉強するわけですが、学習者に「今までと違うな」と思わせる授業ができたかと願っています。そして、「教えさせてもらっている」から「教えている」と他人に言えるように早くなりたいです。(植野修平)

## ■きょうしつからこんにちは No.6

Cグループ(中級)の学習者の作文です。

わたしはセイキ・テハダ・ツカモトです。にほんに3ねんまえきました。ペルーからきました。それからすぐにほんごのクラスにはいって、いままでべんきょうしている。やっぱりさいしょからむずかしかった。いちばんむずかしかったのは、じだとおもいます。でももうなれているとおもいます。べんきょうしているあいだにいろんなせんせいといっしょにべんきょうしました。にほんごのクラスはほんとうにおもしろい、たのしい…むずかしい。いまのクラスはいみだったりかんじ、たんごなどすこしむずかしいけどがんばっています。

これからははなすことやほんをよむことをべんきょうして、じょうずになったら、だいがくでべんきょうしたいです。だいがくにはいったら、コンピューターのエンジニアのべんきょうをしたいとおもいます。だいがくをでたら、コンピューターをつかうしごとにつきたいとおもっています。さいごににほんはペルーにくらべると、しずかでしごとがたくさんあってたいへんけどすばらしいくにです。

## ■楽しく賑やかに秋祭り 各国の料理がずらりと……

秋晴れの10月26日11時よりたかとりコミュニティセンター(T. C. C.) ペーパードームで日本語プロジェクトの秋祭りを開催しました。

学習者26人、支援者30人総勢56人が賑やかに楽しく各自の手作り料理を賞味し、ゲームをし、バザーも楽しみました。料理はブラジルのパステウ、ベトナムの春巻き、インドカレー、韓国のチョレギ、中国えびせん、雲南のココナッツしるこ、エジプトのクッキー、杏仁豆腐、赤飯、ふかし芋、スイートポテト、それに加えて秋の果物がズラーと並びワイワイガヤガヤ作り方などを聞きあったり賑やかにおいしくいただきました。

準備は各自家で作って来たり、鷹取教会の台所でそれぞれ作りました。学習者やその友人、家族、支援者が同じ場で一緒に楽しく働いたことは良い思い出となり一段と交流が深まったように思えました。

今年は特に学習者、支援者の参加が例年になく多くとても心強いものを感じましたし、KFCの仲間の輪が広がっていることを確信しました。バザーは支援者が持ち寄った魅力ある品々をあれこれ見定めて参加者が買い売上も今までの最高の額になりました。来年も自分は使わない物だけ誰かの役にたつかも知れないという意識で今から心がけていきたいものです。

実行委員の方々ほんとうにご苦労様でした。そして皆様のご参加ありがとうございました。(湯口 恵)

## ■秋祭りに参加した学習者の声

日本語きょうしつの秋まつりに参加しました。いろんな国のりょうりを食べることができ、とてもおいしかったです。ブラジルりょうりパステウをみんなで作りましたが、いかがでした

か。たのしい一日でした。（杉原せつみ）

あき、たかとりきょうかいへかぞくとわたしはいきました。かれいをにほんじんといっしょにたべました。おいしかったです。（ブーティタイバン）

今日は、バスに乗って教会へ家族といっしょに行きました。教会へたどり着いたら部屋の中に外国人と日本人がいっしょに料理を作っていたから「おいしそう。」と思いました。お父さんは日本語がちょっとしか分からないので、まつもと先生と長く話をしていました。10分後、部屋の中から、たくさんおいしそうな料理をテーブルに用意してあったので「昼食かな？」と思っていたので、今度は大きい部屋に入りました。いろんな食べ物があったので、どれもおいしかったです。昼食の後、ゲームをしてもりあがりしました。ゲームが終わった後、わたしたちは帰りました。いい思い出ができたと思います。（グエン ボー チュオン）

10月26日(日) あきまつりに行きました。たのしかったです。いろいろりょうりをたべました。はるまきをたべました。いちばんりょうりがほしいです。ゲームをしました。わたしは、なまはるまきをつくった。おいしいとおもいました。わたしは1時半にかえりました。（グエン ティ フォン クイン）

来日して初めての祭りで、とても楽しかった。

一番美味しかった食べ物はインドカレーで、二番目は揚げ春巻でした。（勿論、パステルも美味しかったけど。。。）

今までブラジル人と日本人にしか会ったことがなかった私は在日韓国・朝鮮人、ベトナム人、中国人等と一緒に遊ぶ事ができて感動しました。

貴重な体験をありがとうございました。（カモザキ スエレン）

日曜日は、秋まつりがありました。たかとりきょうかいでいました。たのしかったです。いっぱいりょうりを食べました。ゲームもあそびました。ブラジル人とかんこく人とベトナム人などいました。みんなはしんせつです。いっそうにはなしました。おもしろかった。やすいものはうっていました。私はkittyちゃんを買いました。100¥です。かわいいです。わたしはほんとにすきです。（チャン）

#### ■日本語ボランティア養成講座

12月20日（土）から日本語ボランティア養成講座が始まります。この講座は、より実践的な講座になっておりますので、ぜひスキルアップのためにもご参加ください。

日程、申込方法など詳細は別紙をご参照下さい。

#### ■Aグループプレッスンアシスタント募集

2004年1月～3月の毎週月曜日と木曜日19:00～20:30のグループプレッスンのアシスタント（ボランティア）を募集しています。

応募条件は、

- ・当センターの設立趣旨をご理解頂ける方
- ・毎月第2土曜日の研修会に参加して頂ける方
- ・イベントなどに積極的に参加して頂ける方です。

アシスタントには、交通費をお渡しします。（ただし1200円/回まで、月上限週1日につき

5000円まで)

応募方法は、履歴書、応募動機を書いた400字程度の作文を12月12日までに事務局 までご提出ください。

その他ご不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

---

### ■■■ K O B Eハナの会 ■■■

#### ■遠足

先日、10月16日に淡路島へ遠足に行って来ました。きれいな花畑を見て、おいしいお弁当を食べて、最後は、温泉に入って楽しい1日を過ごしてきました。無事にバス旅行ができましたのも、皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

当日はお天気にも恵まれ、高齢者の参加は29名でわいわいがやがやとよかったです。お弁当のおかずもまるでレストランのランチバイキングの様で、はしとお皿を持ってひとまわりすれば、山盛りのおかずが手に入りました。どうもごちそうさまでした。

ところが年を重ねるごとに体調のせいなのか、衣服の着脱に時間がかかる為なのか、入浴されない方が増えてきたように感じました。どうしたら楽しんでもらえるか、工夫をしていくことが、ハナの会の今後の課題かと思われれます。

でも、毎週木曜日の昼食会では平均25名の高齢者が来られるなり働き手となって、素晴らしい料理を作ってくださいます。確実に最後までやりぬくという仕事ぶりには、本当に頭が下がります。私たちボランティアは、高齢者の方々にたくさんのことを教えていただいています。それは料理だけでなく、今まで生きてこられた経験でおっしゃる一言一言が心に深くしみ込んできます。

とにかくおしゃべりが上手でジョークもあり、おもしろいんです。それでいて、料理も天下一品の出来なのですから、いうことなしです。毎回食後はお腹いっぱい、心もいっぱいの気持ちになるのは、私一人ではないと思っています。今現在、仕事で参加できなくなった元ボランティアの人たちも季節ごとに食材や果物を遠方から送ってきてくれます。高齢者の方も本当に喜んでいらっしゃると思います。これからハナの会は介護保険事業にも力を入れていくことでしょうか。老人問題は家族問題といわれています。ハナの会が家族の方にも安心してそして喜んでいただけるようになればいいなと思います。（金美里）

#### ■ご挨拶

K F Cハナの会ができて、四年余りが過ぎました。お手伝いしています金美里です。

なぜハナの会に参加するようになったかという、ハナの会とはごはんを作って食べて片付けてという内容を聞きまして、全部したことがあるし、できるだろうと思ったからです。初めの頃は、メニューも決まっていなくて、不足材料の買い物に走ったりしたものでした。ああでもないこうでもないと言いながら、今はちょっと落ち着いてきたと思います。他のボランティアの人たちと相談して力を合わせて、それぞれ自分にできることをやりながらいい感じで進んでいると思っています。

あせらずゆっくりとやっていきたいです。これからもどうぞよろしくお願いします。（金美里）

---

### ■■■ 今後の予定 ■■■

■日本語プロジェクト学習支援者のための研修会・連絡会

12月13日（土）13：30～16：00

「タイで教えた経験談」

福田文子

■日本語クリスマス会

12月19日（金）18：30～20：30

若松地域福祉センター（予定）にて

■日本語ボランティア養成講座

●12月20日（土）13：30～16：00

「開講式、オリエンテーション」

KFC日本語プロジェクトリーダー会

「多文化・多民族・多言語のコミュニティ」

吉富志津代（ワールド・キッズ・コミュニティ代表、多言語センターFacil代表）

●1月10日（土）13：30～16：00

日本語教育の概念／授業の流れ／および発音と表記

斎藤明子（神戸YWCA学院専門学校講師）

■地域国際化を考える研修会

●12月3日（水）13：30～15：00

外国人住民の抱える医療問題

中萩エルザ（Disque-Saude）

●12月3日（水）15：10～16：40

外国人住民の抱えるDV問題

もりきかずみ（アジア女性自立プロジェクト代表）

[前のページに戻る](#)